

岐阜市の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

市とハローワークが連携して、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームにて職業紹介等を実施。

市

市役所庁舎内の提供

① 事業内容

- ・就職支援ナビゲーターより、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームで生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談や職業紹介を実施

② 協定・事業計画

- ・岐阜市長と岐阜労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を岐阜市と岐阜労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。

国

職業紹介・職業相談の実施等



この協定の締結により、生活困窮者の早期就職に向けた就労支援の強化・充実が図られ、自立への支援の一層の強化と利便性向上を実施。

(1) 実施体制

岐阜市

- ・ 面接相談員、就労支援員、キャリアカウンセラー、ケースワーカーを配置

国(ハローワーク岐阜)

- ・ 就職支援ナビゲーター2名を配置
- ・ 求人情報提供用のパソコン1台を配置

(2) 事業目標と取組状況(6年度)

| 事業内容 | 事業目標(年度) | 取組状況 (令和6年5月末時点) |
|--------------------------------|---|--|
| 生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談、職業紹介等の実施 | 利用者数 2,000名 支援対象者数 180名 就職者数 258名 就職率 36.7% (参考)前年度目標 ・利用者 2,000名 ・支援対象者数 180名 ・就職者 203名 ・就職率 36.7% | 利用者数 208名 支援対象者数 20名 就職者数 20名 就職率 10.0% (参考)前年同月実績 ・利用者数 266名 ・支援対象者数 25名 ・就職者数 49名 ・就職率 40.0% |

一体的実施事業（岐阜市）による就職成功例

男性：20代 ・希望職種：製造 倉庫作業

① 求職者の課題

・生活保護受給3年。うつ病 手帳なし。通院を中断しているが安定している。高校中退後離職を繰り返して定着できず。離婚歴あり、子供3人と会えない状態が続いている。

② 紹介の経過

・早期就職を希望。高校中退後、接客や調理、製造職に就いたがいずれも長続きせず。AT限定免許以外に資格はない。製造や倉庫作業希望であったため、職業訓練「総合オペレーション科」受講を提案。選考会の筆記試験、面接とも思うようにできず不合格。就職を目指したが、希望条件が高く該当する求人はほとんどないため、求人状況の理解と条件の緩和の必要性を説明。交通機関利用が便利な場所に住んでおり、賃金の条件を下げたことで選択できる求人が増えた。未経験、資格・学歴不問の求人から選定。経験が少なくブランクもあり不安が大きく応募に踏み切れなかったが、昇給・賞与があり、「スキルや経験がない方でも丁寧に教えます」という記載が応募への最後の後押しとなった。

③ 結果

・紹介就職 正社員 部品取付作業員

④ 職業相談員の所感

・障害者コーナー利用について説明を行い、非開示、一般相談希望を確認。離婚した相手方に子供が3人いるが生活保護受給となり会うことができない状態、早期就職をして生活保護から脱却し子供に会いたいと言うが、反面、今の生活に不満はないようにも感じた。また、就職への不安と自信のなさが見受けられた。否定的な発言が多く、不安を回避するために、理由をつけて途中でやめてしまう等の行動が見られた。賃金や年間休日、昇給賞与等希望条件は明確だが、本人の経験やスキルが見合っていないことを理解していなかった。採用となった求人は生活保護脱却が可能である。採用連絡があった直後に辞退を申し出たが、ケースワーカーとナビからアドバイスを行い就職を決意、就労開始となった。まだ若く、就労を継続し生活保護脱却を目指してほしい。

⑤ 本人のコメント

・体調不良を理由に採用辞退を申し出たが、会社から「待つ」と言っていた。治療不要と診断され安心できた。不安はあるが頑張りたい。